

# ロボット・テクノロジー 関連株ファンド ーロボテックー

## 運用報告書（全体版） 第7期

（決算日 2019年3月13日）

（作成対象期間 2018年9月14日～2019年3月13日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のロボット関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	約9年9カ月間（2015年12月7日～2025年9月12日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	当ファンド	イ. アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
3期末(2017年3月13日)	円 10,933	円 800	% 25.7	10,525	% 22.4	% 0.0	% 98.6	百万円 121,637
4期末(2017年9月13日)	11,926	450	13.2	11,161	6.0	–	98.7	222,412
5期末(2018年3月13日)	12,898	300	10.7	11,823	5.9	–	99.0	389,377
6期末(2018年9月13日)	12,761	0	△ 1.1	12,283	3.9	–	98.8	390,553
7期末(2019年3月13日)	12,294	0	△ 3.7	12,107	△ 1.4	0.0	99.6	345,939

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World 指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World指数 (配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI AC World指数 (配当込み、米ドルベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

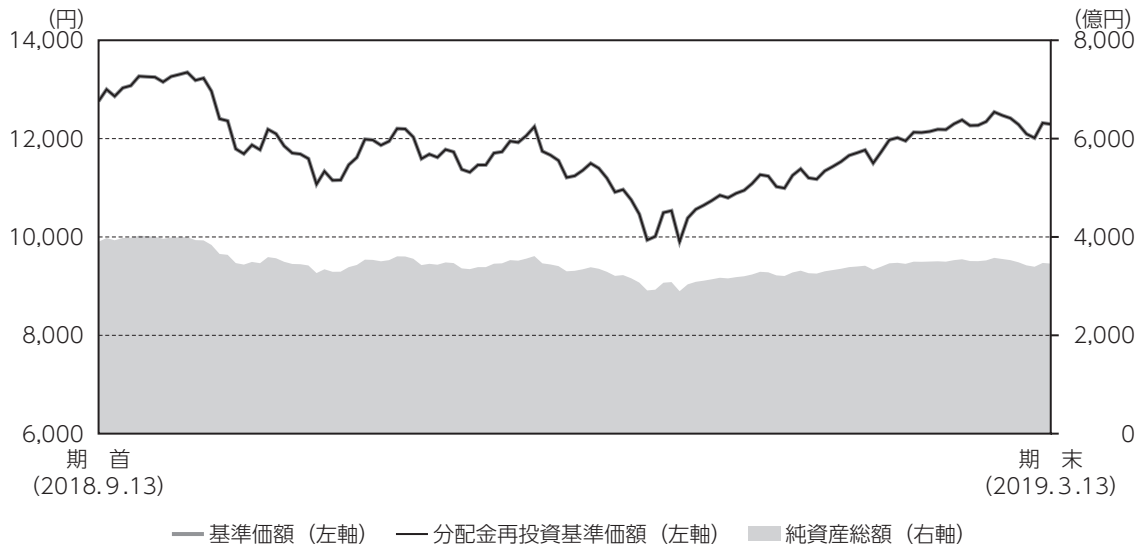
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：12,761円

期末：12,294円（分配金0円）

騰落率：△3.7%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、保有していた米国や欧州の銘柄が下落したことなどがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ロボット・テクノロジー関連株ファンド -ロボテック-

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		公 社 債 組 入 比	投 資 信 託 受 組 証 券 入 入 比	率 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期首) 2018年 9月13日	円 12,761	% -	12,283	% -	% -	% 98.8	
9 月末	13,264	3.9	12,787	4.1	-	99.7	
10月末	11,467	△10.1	11,618	△ 5.4	-	99.4	
11月末	11,923	△ 6.6	11,943	△ 2.8	-	99.5	
12月末	10,533	△17.5	10,762	△12.4	-	99.5	
2019年 1 月末	11,343	△11.1	11,432	△ 6.9	-	99.5	
2 月末	12,270	△ 3.8	12,104	△ 1.5	-	99.6	
(期末) 2019年 3月13日	12,294	△ 3.7	12,107	△ 1.4	0.0	99.6	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

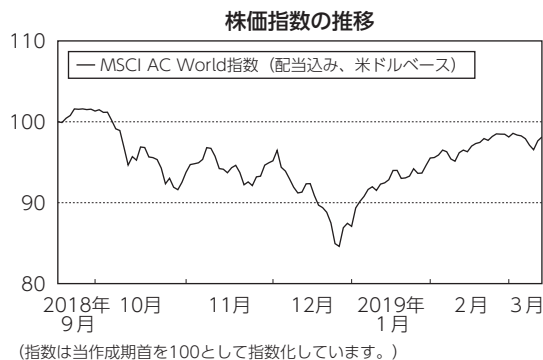
## 投資環境について

(2018.9.14~2019.3.13)

### ■グローバル株式市況

グローバル株式市場は小幅に下落しました（現地通貨ベース）。

当作成期首から緩やかな上昇基調で始まったグローバル株式市場は、2018年10月に入ると、米国の堅調な経済指標を受けて長期金利が上昇したことや米中貿易摩擦の長期化の影響などが懸念され、大きく下落しました。年末にかけても、米国のハイテク企業が需要見通しを引き下げたことや中国通信機器大手の幹部の逮捕をきっかけとした米中関係の悪化、米国の政府機関の一部閉鎖などをを受けて下落しました。年が明けると、米中通商協議に進展が見られたことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）が金融引き締めに対して慎重な姿勢を示したことが好感され、反発に転じました。また、2018年10-12月期の企業決算もおおむね良好で市場の悲観は行き過ぎであるとの見方が広がり、リスク回避姿勢が後退し上昇基調となりました。

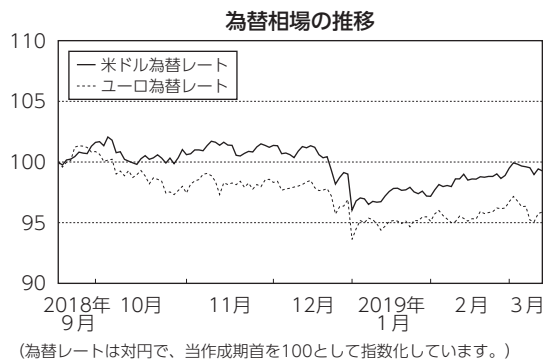


### ■為替相場（米ドル／円、ユーロ／円）

為替相場は、米ドル円はおおむね横ばい水準、ユーロ円は円高ユーロ安となりました。

米ドル円相場は、当作成期首から2018年12月中旬にかけておおむねボックス圏で推移しました。2018年末にかけては、株式市場が下落する中で投資家のリスク回避姿勢が強まり下落しました。その後は、過度な懸念が後退する中で、米中通商協議の進展期待などをを受けて上昇基調となりました。

ユーロ円相場は、当作成期首より、トルコなどの新興国市場への懸念が後退したことから上昇して始まりました。しかしその後は、景気後退懸念や政治の先行き不透明感などが重しとなり、2018年末にかけて下落しました。当作成期末にかけては、リスク回避姿勢が後退したことなどから上昇し、これまでの下落幅を縮小させました。



## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

### ■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

足元は貿易摩擦への懸念や米国の金利上昇圧力による景気減速懸念などの不透明要素がある中、グローバル株式市場は全般的に上値の重い環境が続いていますが、当ファンドで投資する企業の多くは業績好調で、今後の事業見通しも良好です。2018年年初から8月末までの時点では、保有銘柄の収益の伸びは株価の上昇を上回っています。つまり、ロボットや自動化関連銘柄のバリュエーションは割安な水準にあるといえます。運用チームでは、企業のファンダメンタルズにフォーカスし、株価が弱含む局面があれば、中長期的に確信度の高い銘柄を積み増す好機として考えています。また、不透明感がある環境では、景気や短期的な需要のサイクルに左右されにくいヘルスケア・セクターやソフトウェア・セクターの組み入れが当ファンドのパフォーマンスを支えるものとみています。今後も、将来的に成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことでファンドの成長をめざしてまいります。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2018.9.14~2019.3.13)

### ■当ファンド

当ファンドは、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）とダイワ・マネーストック・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）を高位に組み入れました。

### ■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやキーエンスのような大型株からテラデザインやライト・メディカル・グループなどの中小型株にも幅広く投資しました。地域別では、ロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国や日本を中心に投資しました。

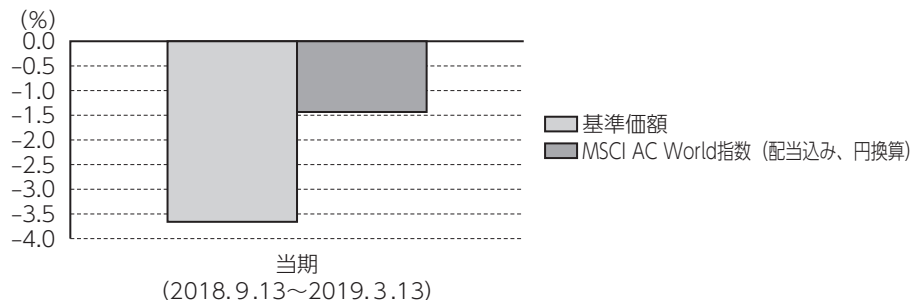
当作成期は、米国のアンシスやオートデスクなどの既存の組入銘柄の買い増しを行い、ソフトウェア関連株の組み入れを増やしました。また、日本の銘柄では、マテリアルハンドリング大手のダイフクを新規に組み入れたほか、ファナックやキーエンスなどの既存の組入銘柄の買い増しを行いました。一方、フランスの自動車部品メーカーのヴァレオを全売却しました。また、米国の糖尿病患者向け血糖値モニタリングシステムのリーディングカンパニーであるデクスコムについては、好調なパフォーマンスを受けて一部売却し利益を確定しましたが、その後株価が下落した場面で買い戻しを行うなど機動的な運用を行いました。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当 期	
	2018年9月14日 ～2019年3月13日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（%）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	2,374

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。





## 今後の運用方針

### ■当ファンド

ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、さまざまなロボット関連産業の企業に投資します。「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業、「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業、「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業等に注目しています。今後は、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流などの幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えており、当ファンドの見通しは引き続き明るいと考えています。今後も、成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことでファンドの成長をめざしてまいります。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2018.9.14~2019.3.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	71円	0.602%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,758円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0.402)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	71	0.603	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2018年9月14日から2019年3月13日まで)

国	買付	付		売付	
		口数	金額	口数	金額
内	千口	千円	千口	千円	
	アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	3,158,840.987	4,500,000	23,750,050.267	33,600,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年9月14日から2019年3月13日まで)

決算期	当 期					
区分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 250	百万円 250	% 100.0	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	4,086,195	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

\*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口数	評価額	比率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	243,202,716.436	344,715,530	99.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 947	千口 947	千円 949

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月13日現在

項 目	当 期 末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 344,715,530	% 98.4
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	949	0.0
コール・ローン等、その他	5,644,316	1.6
投資信託財産総額	350,360,796	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年3月13日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	350,360,796,186円
コール・ローン等	5,144,316,748
投資信託受益証券(評価額)	344,715,530,276
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	949,162
未収入金	500,000,000
(B) 負債	4,421,206,630
未払解約金	2,343,115,582
未払信託報酬	2,077,014,163
その他未払費用	1,076,885
(C) 純資産総額(A - B)	345,939,589,556
元本	281,388,947,996
次期繰越損益金	64,550,641,560
(D) 受益権総口数	281,388,947,996口
1万口当り基準価額(C/D)	12,294円

\* 期首における元本額は306,047,856,491円、当作成期間中における追加設定元本額は18,064,213,985円、同解約元本額は42,723,122,480円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,294円です。

■損益の状況

当期 自2018年9月14日 至2019年3月13日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 918,634円
受取利息	65,210
支払利息	△ 983,844
(B) 有価証券売買損益	△ 9,598,504,414
売買益	3,187,712,891
売買損	△ 12,786,217,305
(C) 信託報酬等	△ 2,078,736,908
(D) 当期繰越損益金(A + B + C)	△ 11,678,159,956
(E) 前期繰越損益金	17,634,381,057
(F) 追加信託差損益金	58,594,420,459
(配当等相当額)	( 37,427,318,344)
(売買損益相当額)	( 21,167,102,115)
(G) 合計(D + E + F)	64,550,641,560
次期繰越損益金(G)	64,550,641,560
追加信託差損益金	58,594,420,459
(配当等相当額)	( 37,427,318,344)
(売買損益相当額)	( 21,167,102,115)
分配準備積立金	19,910,982,323
繰越損益金	△ 13,954,761,222

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	46,917,179,356
(d) 分配準備積立金	19,910,982,323
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	66,828,161,679
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	66,828,161,679
(h) 受益権総口数	281,388,947,996口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ロボット・テクノロジー関連株ファンド（ロボテック））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2019年3月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を12ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2018年9月14日から2019年3月13日まで)

買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
801 国庫短期証券	2019/3/18		千円 250,003				千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2019年3月13日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（61,033,452千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2019年3月13日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 250,000	千円 250,001	% 0.4	% -	% -	% -	% -	% 0.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2019年3月13日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	801 国庫短期証券		% -	千円 250,000	千円 250,001	2019/03/18

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

## 運用報告書 第9期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

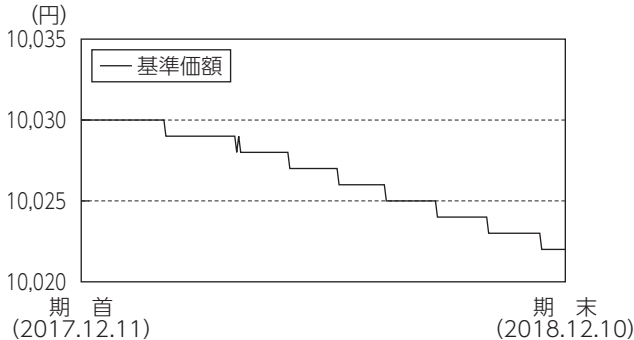
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債比率	
	円	騰落率 %	%	%
(期首)2017年12月11日	10,030	-	-	-
12月末	10,030	0.0	-	-
2018年 1 月末	10,030	0.0	-	-
2 月末	10,029	△0.0	0.5	-
3 月末	10,029	△0.0	-	-
4 月末	10,028	△0.0	-	-
5 月末	10,027	△0.0	-	-
6 月末	10,026	△0.0	-	-
7 月末	10,025	△0.0	-	-
8 月末	10,025	△0.0	-	-
9 月末	10,024	△0.1	-	-
10 月末	10,023	△0.1	-	-
11 月末	10,022	△0.1	-	-
(期末)2018年12月10日	10,022	△0.1	-	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,030円 期末：10,022円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量の・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	4 (4)
合計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況  
公社債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買付額	売付額
国		千円	千円
内	国債証券	570,003	(570,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄  
公社債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
723 国庫短期証券 2018/3/5	220,001		
757 国庫短期証券 2018/8/13	200,001		
731 国庫短期証券 2018/7/10	150,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。





■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,014,406円
受取利息	30,196
支払利息	△ 21,044,602
(B) 有価証券売買損益	△ 2
売買損	△ 2
(C) その他費用	△ 16,468,861
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 37,483,269
(E) 前期繰越損益金	91,400,424
(F) 解約差損益金	△184,462,233
(G) 追加信託差損益金	220,618,947
(H) 合計(D + E + F + G)	90,073,869
次期繰越損益金(H)	90,073,869

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年（平成37年9月11日まで）	
運用方針	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>主として、マザーファンドの受益証券に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行いません。</li> <li>マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</li> <li>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> <li>資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</li> </ol>	
マザーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>技術革新が進展することで、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよびコンシューマー向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> <li>ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。 <ol style="list-style-type: none"> <li>日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。</li> <li>投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績向上修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。</li> <li>選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。</li> </ol> </li> <li>株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</li> <li>運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。</li> <li>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> <li>資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</li> </ol>	
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
配分方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき配分を行います。	
	①配分対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。	
	②配分金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては配分を行わないこともあります。将来の配分金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。	
③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いません。		

# アクサ IM・グローバル・ ロボット関連株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／株式

## 運用報告書（全体版）

第6期（決算日 2019年2月13日）

### 受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、このたび第6期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のロボット関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階  
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》  
電話番号：03-5447-3160  
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込 分 配 金	期騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
2 期末(2017年 2 月13日)	11,170	0	22.1	97.4	117,101
3 期末(2017年 8 月14日)	12,384	0	10.9	95.8	215,871
4 期末(2018年 2 月13日)	14,072	0	13.6	97.5	375,075
5 期末(2018年 8 月13日)	14,399	0	2.3	98.6	410,772
6 期末(2019年 2 月13日)	13,790	0	△ 4.2	98.8	361,683

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

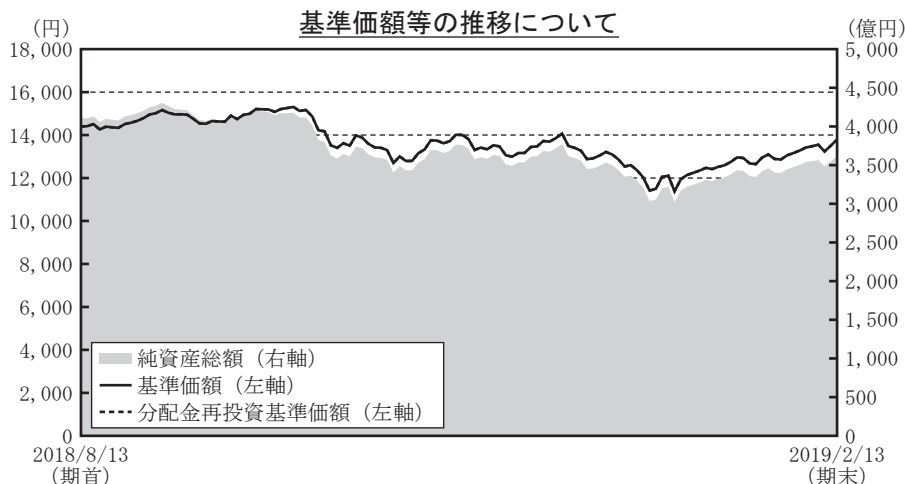
年 月 日	基準価額		株組入比率
	騰落率	騰落率	
(期首) 2018年 8 月13日	円	%	%
8 月末	14,399	—	98.6
9 月末	15,036	4.4	97.8
10 月末	15,210	5.6	97.9
11 月末	13,158	△ 8.6	96.9
12 月末	13,697	△ 4.9	97.7
2019年 1 月末	12,105	△ 15.9	97.7
(期末) 2019年 2 月13日	13,056	△ 9.3	98.8
	13,790	△ 4.2	98.8

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2018年8月14日～2019年2月13日）



期 首：14,399円  
 期 末：13,790円（既払分配金（税込み）：0円）  
 騰 落 率：△4.2%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当期は、主に米国および欧州の保有銘柄の株価が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は値下がりしました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

期中のグローバル金融市場は、経済に対する先行き懸念が徐々に高まり、変動の激しい展開となりました。米国の中間選挙では、市場の予想通り上院では共和党が過半数を獲得しましたが、トランプ政権の混乱は収まらず穏健派とされる閣僚が相次いで辞任する事態となり先行きの不安感は更に高まりました。また、トランプ大統領は、「国境の壁」建設費50億ドルの予算を巡り議会と対立し、政府機関の一部閉鎖という事態に陥りました。1月のFOMC（米連邦公開市場委員会）定例会合においては、市場が明らかに経済成長停滞のリスクを意識した動きをしていることを背景に、声明文では「慎重な姿勢」という文言を盛り込みハト派な姿勢を示しました。欧州では、政治関連の報道が過熱し、ブレグジット交渉、イタリアの予算案、フランスの社会的混乱などネガティブな報道が続きました。年末に開催されたイングランド銀行の金融政策委員会では、政策金利の据え置きを全会一致で決定し、ブレグジットを巡る不透明感が著しく高まり金融市場を圧迫していることが指摘されました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の111円台から期末には同じく111円台、ユーロ・円レートは期初の126円台から期末には125円台となりました。

米ドルについては、期初は世界的な株高からリスク選好が強まったことや、欧米の債券利回りが上昇したことから、米ドル、ユーロといった主要通貨に対して円は下落しました。しかし、米中貿易摩擦の交渉難航や、米国の中間選挙に対する警戒感、米国政府機関の一部閉鎖、ブレグジットを巡るEUと英国の交渉、イタリア

の予算案を巡る政局の混乱など複合的な理由から世界経済の減速が懸念されました。これにより世界的に大幅な株安となったことに加え、FRB（連邦準備制度理事会）が一転ハト派的なスタンスをとったことから、12月からは安全資産と考えられている円に対する需要が強まり、米ドルとユーロに対して円高となりました。

### 【ポートフォリオについて】

#### ○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

#### ○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を下支えする半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやアルファベット（旧グーグル）のような大型株からテラダイン、コグネックスなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、インテュイティブサージカルなどのロボット手術向けにモーション・コントロールを供給しているカナダのノバンタを新規で組み入れました。また、製造業や物流センター向けにマテリアルハンドリング（マテハン）機器を供給している日本のダイフクも新規で組み入れました。一方で、日本の半導体企業のルネサスエレクトロニクスについては、9月に発表した米社買収についてあまり好ましいと思えないことから全額売却したほか、2018年に相対的に底堅いパフォーマンスを示した米国の医療機器のストライカーを全額売却し、より有望な銘柄の買い増しを行いました。

### 【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

### 【分配金】

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第6期
		2018年8月14日～2019年2月13日
当期分配金		—
	（対基準価額比率）	—%
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
	翌期繰越分配対象額	4,314

（注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## ■今後の運用方針

### ○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

### ○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

当運用チームでは、2019年は産業、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流などの幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えており、当ファンドの見通しは引き続き明るいと考えています。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

## ■1万口当たりの費用明細（2018年8月14日～2019年2月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	39円	0.286%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は13,637円です。
（投 信 会 社）	(37)	(0.272)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	( 0)	(0.003)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	( 1)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.013	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	( 2)	(0.013)	
そ の 他 費 用	1	0.008	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	( 0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	( 1)	(0.008)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	42	0.307	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■売買及び取引の状況（2018年8月14日～2019年2月13日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	1,917,123	2,150,000	29,820,135	35,200,000

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2018年8月14日～2019年2月13日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	96,825,031千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	386,228,474千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.25

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2018年8月14日～2019年2月13日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2018年8月14日～2019年2月13日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2019年2月13日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	346,514,535	318,611,523	362,643,636

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2019年2月13日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	362,643,636	99.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	693,754	0.2
投 資 信 託 財 産 総 額	363,337,390	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（319,853,545千円）の投資信託財産総額（386,915,136千円）に対する比率は、82.7%です。

（注3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=110.55円、1台湾ドル=3.58円、1英ポンド=142.47円、1ユーロ=125.22円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年2月13日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	363,337,390,001円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	93,754,000
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド(評価額)	362,643,636,001
未 収 入 金	600,000,000
(B) 負 債	1,653,840,428
未 払 解 約 金	599,999,999
未 払 信 託 報 酬	1,053,239,981
そ の 他 未 払 費 用	600,448
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	361,683,549,573
元 本	262,272,544,421
次 期 繰 越 損 益 金	99,411,005,152
(D) 受 益 権 総 口 数	262,272,544,421口
1万口当り基準価額(C/D)	13,790円

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 期首元本額     | 285,277,336,140円 |
| 期中追加設定元本額    | 3,612,062,413円   |
| 期中一部解約元本額    | 26,616,854,132円  |
| 2. 1口当たり純資産額 | 1.3790円          |

■損益の状況

当期（自 2018年8月14日 至 2019年2月13日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 收 益	△ 44,718円
受 取 利 息	1,396
支 払 利 息	△ 46,114
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△14,809,241,827
売 買 益	2,026,018,438
売 買 損	△16,835,260,265
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,053,970,096
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△15,863,256,641
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	60,506,097,178
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	54,768,164,615
(配 当 等 相 当 額)	( 52,057,044,933)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 2,711,119,682)
(G) 計 (D+E+F)	99,411,005,152
次 期 繰 越 損 益 金(G)	99,411,005,152
追 加 信 託 差 損 益 金	54,768,164,615
(配 当 等 相 当 額)	( 52,061,237,593)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 2,706,927,022)
分 配 準 備 積 立 金	61,092,172,037
繰 越 損 益 金	△16,449,331,500

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（586,074,859円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（52,061,237,593円）および分配準備積立金（60,506,097,178円）より分配対象収益は113,153,409,630円（10,000口当たり4,314.34円）ですが、当期に分配した金額はありません。



当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行いません。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	<p>1. 技術革新が進展することで、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよび消費者向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。</p> <p>ロ) 投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績上方修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ) 選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
株式組入制限	無制限

# アクサ IM・グローバル・ ロボット関連株式マザーファンド

## 運用報告書

第3期（決算日：2018年8月13日）

（計算期間 2017年8月15日～2018年8月13日）

■設定以来の運用実績

決算期	基準	価額		株組入比率	純資産額
		期騰	落中率		
(設定日) 2015年12月8日	円		%	%	百万円
	10,000	—		—	95
1期末(2016年8月15日)	7,435	△25.7		96.8	108,241
2期末(2017年8月14日)	10,127	36.2		95.8	234,330
3期末(2018年8月13日)	11,852	17.0		98.6	436,627

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

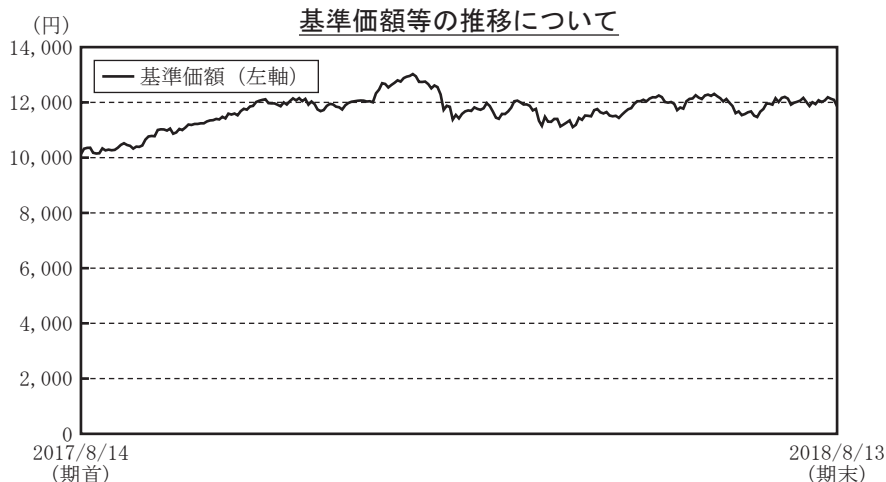
■当期中の基準価額の推移

年月日	基準	価額		株組入比率
		騰	落率	
(期首) 2017年8月14日	円		%	%
	10,127	—		95.8
8月末	10,461	3.3		95.9
9月末	10,997	8.6		96.4
10月末	11,736	15.9		96.8
11月末	11,916	17.7		96.3
12月末	12,005	18.5		95.8
2018年1月末	12,506	23.5		97.2
2月末	11,869	17.2		96.6
3月末	11,399	12.6		96.3
4月末	11,515	13.7		97.2
5月末	11,812	16.6		97.2
6月末	11,579	14.3		97.4
7月末	11,869	17.2		97.6
(期末) 2018年8月13日	11,852	17.0		98.6

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2017年8月15日～2018年8月13日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、主に米国の保有銘柄の株価上昇に加えて、為替市場で米ドルが対円で上昇したことがプラス要因となり、基準価額は値上がりしました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

期初のグローバル株式市場は、米長期金利が上昇したことにより大幅に調整しました。3月には米国が中国に対して追加関税を発動したことから貿易摩擦懸念が高まり、市場は軟調な場面が見られたものの、次第に懸念が和らいだことや、良好な企業決算を背景に、回復基調へと転じました。しかし、6月に再び米国が中国へ追加関税措置を発表、翌日に中国が報復関税を発表するなど、貿易摩擦懸念が再燃し、グローバル株式市場は下落しました。好調な企業業績に支えられ再び市場は上昇したものの、拘束されている米国人牧師の解放をトルコが拒否したことから、8月にトランプ大統領がトルコへの輸入関税引き上げ等の制裁を表明し、グローバル市場は下落。期末には期初と比較してほぼ横ばいとなりました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の108円台から期末には110円台、ユーロ・円レートは期初の133円台から期末には125円台となりました。

米ドルについては、期初は米長期金利が急上昇したことを受けて円高ドル安が進行、一時105円を切る局面もあったものの、米朝首脳会談開催による米朝緊張緩和、好調な米国経済指標、パウエルFRB議長の段階的な利上げ示唆や、トランプ米大統領とユンケル欧州委員会委員長の会談により貿易摩擦に対する警戒感が和らいだことなどを背景に、円安米ドル高となりました。一方、ユーロはイタリアとスペインの政局不安が高まり、一時大幅なユーロ安となりました。その後欧州中央銀行（ECB）の金融政策正常化への期待が高まったことから円安ユーロ高に転じたものの、期末はトルコを震源とする不安が欧州に波及し、期初と比較して円高ユーロ安で着地しました。

### 【ポートフォリオについて】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を下支えする半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやアルファベット（旧グーグル）のような大型株からP T Cやテラダイン、ナブテスコなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、自動運転、航空宇宙およびI o Tの製品設計・開発に必要なシミュレーションソフトウェア市場で先導的な地位を占めている米国のアンシス、3 D技術を使った製造・建設業向けのデザインおよびエンジニアリング向けソフトウェアの開発・サポートを行っているオートデスク、5月に米国の大手スーパーマーケットチェーンのクローガーヘシステム提供が決定した英国のオンライン専門スーパーマーケットのオカド・グループを新規に組み入れました。一方、米国の競合会社との激しい価格競争を繰り広げている日本の農業機器のクボタ、市場予想を下回る決算を発表したイスラエルの3 Dプリンターメーカーのストラタシスを全売却しました。

### 【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

### 【今後の運用方針】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転技術向けの自動車部品企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

当運用チームでは、2018年は産業、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流などの幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えており、現在の経済環境において当ファンドの見通しは引き続き明るいと考えています。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細 (2017年8月15日～2018年8月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	6円 (6)	0.049% (0.049)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	1 (1)	0.013 (0.013)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	7	0.061	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。期中の平均基準価額は11,709円です。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2017年8月15日～2018年8月13日)

株 式

			買 付		売 付	
			株 数	金 額	株 数	金 額
国内	日 本	千株	千円	千株	千円	
		11,329	39,852,946	4,840	14,523,252	
外国	ア メ リ カ	百株	千米ドル	百株	千米ドル	
		196,776 (6,845)	1,334,235 (△8,822)	66,027	344,910	
	台 湾	千台湾ドル	千台湾ドル	千台湾ドル	千台湾ドル	
		32,320	760,506	3,590	82,375	
	イ ギ リ ス	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド	
		15,008	15,887	76	80	
	ス イ ス	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン	
		7,517	18,742	23,768	52,042	
国	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ		
	オ ラ ン ダ	7,168	23,985	803	2,887	
	フ ラ ン ス	11,485	78,423 (△885)	645	3,629	
	ド イ ツ	31,790 (5,733)	167,248 (△706)	2,325	12,474	

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) ( )内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切り捨て。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2017年8月15日～2018年8月13日)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	291,351,176千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	368,396,670千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.79

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 (2017年8月15日～2018年8月13日)

買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
TE CONNECTIVITY LTD	723	7,817,833	10,807	安川電機	1,361	6,699,348	4,919
XILINX INC	834	6,730,631	8,066	SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	1,124	6,424,823	5,715
SCHNEIDER ELECTRIC SE	685	6,599,660	9,621	ABB LTD	2,376	5,819,274	2,448
HOLOGIC INC	1,370	6,221,163	4,538	クボタ	2,884	5,108,398	1,771
クボタ	2,884	6,111,631	2,119	ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	277	3,567,110	12,874
INFINEON TECHNOLOGIES AG	1,952	5,799,597	2,969	GENERAL ELECTRIC CO	1,788	3,393,865	1,897
PARKER HANNIFIN CORP	281	5,662,019	20,108	STRATASYS LTD	1,354	2,658,083	1,961
SILICON LABORATORIES INC	551	5,521,072	10,017	AMAZON.COM INC.	14	2,634,255	181,911
ILLUMINA INC	219	5,251,281	23,892	DEXCOM INC	187	2,029,949	10,854
KION GROUP AG	560	5,232,239	9,332	MANHATTAN ASSOCIATES INC	373	1,736,339	4,652

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2017年8月15日～2018年8月13日)

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況 (2017年8月15日～2018年8月13日)

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細 (2018年8月13日現在)

(1) 国内株式

銘柄	前期末 株数	当期末	
		株数	金額
	千株	千株	千円
<b>機械 (16.2%)</b>			
ナブテスコ	1,124	1,569	4,385,355
SMC	137	197	7,062,224
<b>電気機器 (74.4%)</b>			
三菱電機	2,782	4,368	6,361,992
安川電機	2,093	1,711	5,862,915
日本電産	342	493	7,563,822
オムロン	832	1,171	5,708,625
ルネサスエレクトロニクス	1,909	5,325	4,382,475
キーエンス	154	223	13,364,390
ファナック	317	442	9,464,773
<b>卸売業 (9.5%)</b>			
ミスミグループ本社	1,687	2,367	6,697,940
合計	株数・金額	11,380	17,869
	銘柄数<比率>	10	<16.2%>

(注1) 銘柄欄の( )内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	前期末	当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	
			外貨建金額 千米ドル	
(アメリカ)	百株	百株		
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	6,790	—	—	資本財
STRATASYS LTD	8,740	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
WRIGHT MEDICAL GROUP NV	—	19,384	54,413	ヘルスケア機器・サービス
APTIV PLC	4,299	7,260	68,628	自動車・自動車部品
TE CONNECTIVITY LTD	—	7,062	65,083	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ALPHABET INC-CL C	723	995	123,145	ソフトウェア・サービス
AMAZON.COM INC.	591	700	132,171	小売
ANSYS INC	—	2,115	36,282	ソフトウェア・サービス
APPLE INC.	3,449	4,737	98,322	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ASPEN TECHNOLOGY INC	—	4,198	45,523	ソフトウェア・サービス
AUTODESK INC	—	2,781	37,504	ソフトウェア・サービス
BAIDU INC - SPON ADR	1,884	3,426	75,414	ソフトウェア・サービス
BECTON DICKINSON & CO	1,755	2,794	69,673	ヘルスケア機器・サービス
CADENCE DESIGN SYS INC	12,191	18,936	85,592	ソフトウェア・サービス
CISCO SYSTEMS INC	14,451	19,948	87,335	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COGNEX CORP	4,751	15,463	81,448	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CYPRESS SEMICONDUCTOR CORP	—	24,225	40,481	半導体・半導体製造装置
DEXCOM INC	3,396	4,974	61,354	ヘルスケア機器・サービス
GENERAL ELECTRIC CO	13,465	—	—	資本財
GLOBUS MEDICAL INC-A	4,914	6,997	36,630	ヘルスケア機器・サービス
HOLOGIC INC	—	13,315	54,141	ヘルスケア機器・サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	3,235	4,491	68,754	資本財
IPG PHOTONICS CORP	2,628	3,646	59,251	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ILLUMINA INC	—	2,134	70,507	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	497	1,855	96,650	ヘルスケア機器・サービス
LUMENTUM HOLDINGS INC	5,206	10,521	61,654	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MANHATTAN ASSOCIATES INC	3,723	—	—	ソフトウェア・サービス
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	4,552	6,409	56,025	半導体・半導体製造装置
NVIDIA CORP	1,895	2,612	66,566	半導体・半導体製造装置
NUVASIVE INC	3,041	6,097	39,367	ヘルスケア機器・サービス
PTC INC	8,234	11,433	107,819	ソフトウェア・サービス
PARKER HANNIFIN CORP	1,889	4,530	76,111	資本財
QUALCOMM INC	7,313	12,936	83,852	半導体・半導体製造装置
ROCKWELL AUTOMATION INC	2,874	3,967	68,747	資本財
SILICON LABORATORIES INC	—	5,353	51,233	半導体・半導体製造装置
STRYKER CORP	1,526	2,691	44,639	ヘルスケア機器・サービス
TERADYNE INC	11,902	20,297	84,660	半導体・半導体製造装置
TESLA, INC.	—	535	19,024	自動車・自動車部品
TEXAS INSTRUMENTS INC	4,392	6,050	66,608	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2,625	3,831	88,662	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TRIMBLE INC	10,906	20,254	79,376	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
XILINX INC	—	8,105	57,675	半導体・半導体製造装置
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	2,256	—	—	ヘルスケア機器・サービス

銘柄		前期末	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) AMBARELLA INC		百株 6,224	百株 8,582	千米ドル 33,230	千円 3,673,909	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	166,333 33	305,656 39	2,633,568 -	291,167,339 <66.7%>	
(台湾) TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING		62,920	91,650	千台湾ドル 2,245,425	8,083,530	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	62,920 1	91,650 1	2,245,425 -	8,083,530 <1.9%>	
(イギリス) OCADO GROUP PLC		-	14,931	千英ポンド 15,603	2,200,778	小売
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	- -	14,931 1	15,603 -	2,200,778 <0.5%>	
(スイス) ABB LTD		16,250	-	千スイスフラン -	-	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	16,250 1	- -	- -	- <->	
(オランダ) KONINKLIJKE PHILIPS NV		12,005	18,369	千ユーロ 69,327	8,727,645	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	12,005 1	18,369 1	69,327 -	8,727,645 <2.0%>	
(フランス) SCHNEIDER ELECTRIC SE VALEO SA		- 6,620	6,676 10,784	千ユーロ 45,383 44,787	5,713,373 5,638,270	資本財 自動車・自動車部品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	6,620 1	17,460 2	90,171 -	11,351,644 <2.6%>	
(ドイツ) CONTINENTAL AG DUERR AG SIEMENS AG INFINEON TECHNOLOGIES AG KION GROUP AG		1,481 2,893 4,819 15,213 4,773	2,388 11,256 7,183 33,426 10,125	千ユーロ 44,541 46,195 79,407 73,270 58,970	5,607,296 5,815,585 9,996,639 9,223,978 7,423,804	自動車・自動車部品 資本財 資本財 半導体・半導体製造装置 資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	29,181 5	64,379 5	302,385 -	38,067,304 <8.7%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	47,807 7	100,209 8	461,884 -	58,146,593 <13.3%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	293,311 42	512,448 49	- -	359,598,241 <82.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の<>内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の<>内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 単位未満は切捨て。



■投資信託財産の構成

(2018年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 430,452,753	% 98.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	8,487,218	1.9
投 資 信 託 財 産 総 額	438,939,971	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建資産(362,487,713千円)の投資信託財産総額(438,939,971千円)に対する比率は、82.6%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=110.56円、1台湾ドル=3.60円、1英ポンド=141.04円、1ユーロ=125.89円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年8月13日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	439,560,995,007円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,544,562,886
株 式(評価額)	430,452,753,388
未 収 入 金	2,329,685,055
未 収 配 当 金	233,993,678
(B) 負 債	2,933,318,116
未 払 金	883,022,455
未 払 解 約 金	2,050,000,000
そ の 他 未 払 費 用	295,661
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	436,627,676,891
元 本	368,413,075,965
次 期 繰 越 損 益 金	68,214,600,926
(D) 受 益 権 総 口 数	368,413,075,965口
1万口当り基準価額(C/D)	11,852円

- 期首元本額 231,382,404,811円  
期中追加設定元本額 161,939,150,943円  
期中一部解約元本額 24,908,479,789円
- 1口当たりの純資産額 1.1852円
- 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額  
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 346,514,535,466円  
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 21,898,540,499円  
期末元本合計 368,413,075,965円

■損益の状況

(2017年8月15日～2018年8月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,791,037,996円
受 取 配 当 金	3,745,956,197
受 取 利 息	47,972,318
そ の 他 収 益 金	760,345
支 払 利 息	△ 3,650,864
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	36,551,935,761
売 買 益	61,417,257,480
売 買 損	△24,865,321,719
(C) 信 託 報 酬 等	△ 48,296,002
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	40,294,677,755
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,948,594,325
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 3,943,520,211
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	28,914,849,057
(H) 計 (D+E+F+G)	68,214,600,926
次 期 繰 越 損 益 金(H)	68,214,600,926

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。